



大仙市立平和中学校  
校長室だよりNO. 64  
R6.1.25(木)  
文責：菅原和仁



## シリーズ「私の中学生時代」

新年初の掲載は、1年部主任の〇先生です。〇先生は、1年部の核となって、学年行事や学習・生活指導面の指導をがんばってくれています。また、男子ソフトテニス部監督として、郡及び県新人戦では素晴らしい成績を収められました。



### はじめの一步

〇〇〇

私の思い出の中で、数学と関わりのあるものは、中1の授業の中の一コマです。「自転車の車輪にリボンを結びます。自転車を走らせるとリボンはどうのように動きますか」という問題でした。試行錯誤を繰り返したり、友達と侃々諤々したりしながら考えました。とても難儀しましたがその分、解決できたときの喜びは格別でした。それで、数学にほんの少し自信をもち、数学が好きになりました。

次に記憶にある出来事は、受検期の12月、先生に数学の問題を質問に行った時のことです。私以外に4、5名の友達が質問に来ており、順番待ちをしていると、先生に「おまえが、〇〇に説明しなさい」と声を掛けられました。「何で俺が」と思いましたが、しかたがないので解き方を考え、一生懸命に説明しました。何とか分かってもらい、私自身ほっとしました。そして、その友達から「分かった。ありがとう」と言ってもらい、本当にうれしかったのを覚えています。そんな経験から「教師という職業もいいな」と思いました。

次の思い出は、高1の授業での出来事です。初めの方は中学校の多項式の復習みたいな授業でした。そんなの簡単だと舐めてかかってしまい、授業に集中していませんでした。そのため、新しい単元に入ったことも意識できず、ずるずるとサボっていました。その結果、その単元のテストで史上最悪の18点という点数をとってしまいました(ちなみに100点満点です)。さすがにショックで、しばらく学生服のポケットにしまっていました。「しっかりと授業に集中しなければいけない」ということをひしひしと感じた出来事です。

まだまだ、思い出はありますが、はじめの2つの経験から私は数学の教師を目指すようになり、3つ目の出来事から、どんなことも疎かにしてはいけないことを学びました。ほんのちょっとした体験から夢や目標が定まることと、それを実現するためには、努力していくことが大切であることを学びました。誰しも「なりたい自分」があるはずです。その「なりたい自分」になるために、何を、いつまで、どのように実行していくかが大切です。スモールステップで、一つ一つ着実に実現していくことが、「なりたい自分」になるための最短ルートだと私は思っています。今も、そんな思いをもちながら生活しています。

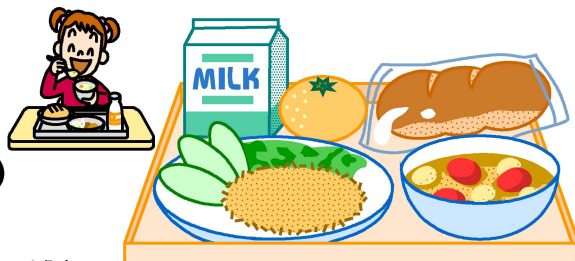
お詫び～前号の全校テストパーフェクト賞で「3年：〇〇〇〇〇さん」の記載漏れがありました。大変失礼いたしました。

昨日24日～30日は、「全国学校給食期間」です。日本の学校給食は、昭和21年(1946年)に山形県鶴岡市で始まったようです。

裏面もご覧ください

昨日から「全国学校給食期間」のため、西部学校給食センターさんでは、「東北味めぐり」を企画してくださいました。ありがとうございます。

- ・ 24日：山形県（山形いも煮）
- ・ 25日：秋田県（大曲カレー旨めん）
- ・ 26日：秋田県（角館お狩り場やき・大曲納豆汁）
- ・ 29日：秋田県（秋田ハンバーグ）
- ・ 30日：青森県（八戸～いか下足メンチ・せんべい汁）



☆昨日24日の給食です↓ メニューは「ごはん・焼き魚（マス）・野菜のごまあえ・山形いも煮・牛乳」



←  
山形いも煮

※保健だよりでお知らせしているとおり大仙保健所管内に「インフルエンザ警報」が発令されています。本校でも、昨日の午後から26日まで1年生で学年閉鎖の措置をとりました。

今後も「食事・睡眠・規則正しい生活・マスクの着用」などの予防対策をよろしくお願いいたします。

※1、2年保護者の皆さまへ

スキー教室の集金への御協力ありがとうございました。

